



## 【 小学校でのオンライン授業の課題と今からも大切にしたいこと 】

緊急事態宣言中の9月10日以降は、午前中の短縮授業を実施して、3年生以上の学年は

短縮授業後に、クロムブックを活用して5時間目の授業に取り組んでいます。初めの週は4年生

以上の取り組みでした。自宅でオンラインに取り組めない、クロムブックの操作がわかりにくい

(苦手)、一人では心配などの理由で、学級によっては半数以上が教室で取り組んでいました。コ

ロナ禍で長期の休みに入るような場合には、どうしても家庭で行うことになるので、先週はもうい

ちどご家庭にお願いして、「家庭で取り組めるところは家庭でお願いします」という文書を出させてい

ただいたところ、多い学級でも3分の1程度になりました。ご協力ありがとうございます。

クロムブックを持ち帰っての学習については、久留米市でも福岡県でも全国でも種々の課題があ

がっています。今月、東京都の町田市ではクロムブックのチャット機能を利用した一人の女子児童

へのいじめにより、尊い命が失われました。この事件を受けて、金丸小でも木曜日に各学級で

クロムブックをオンラインで活用する約束、マナーについてもう一度話をしました。友だち

と話し合いながらつながろうとする教育や情報モラルについての学習は繰り返し、繰り返し行

っていかなければなりません。それは学校だけではなく、重要な家庭教育の課題でもあります。

次は、感染症のために学校・学級閉鎖の時には、家庭でオンラインができない子も学校に来る

ことができずにオンライン授業がうけられないという課題です。クラスルームを開いても数名の子

は入ってくることはできません。個別に電話での対応をするのが現状であり、どの学校(他の

自治体)でも対応に困っています。学級閉鎖や学校閉鎖の場合は、まず校内消毒が必要です。

担任も対応(出勤)できるかどうかかわからない状況になります。久留米市では、3日間程度オン

ライン等の取り組みは行わずに学校・学級を消毒して環境を整えます。学校でオンラインに取

り組む子が学校に出てこれるようになった日(4日目位)からオンライン授業を行う方向です。

学校閉鎖も2日程度が多いので、適用するケースは少ないと思いますが。

また、現在は午後の1時間をオンライン授業としていますが、「午前中の授業の配信ができない

でしょうか。」という声も教育委員会・学校に届いています。このことについては、個人情報の問題（児童の姿が配信される危険性）、クロムブックでの映像及び音声の問題、教科担任制ではない小学校教員の心身の負担増（授業の準備への時間が更に増える）、配信された映像等がSNS上に拡散される危険性（受信者のモラル）等の課題があります。コロナ禍で登校が不安な児童、基礎疾患等で家庭での学習を余儀なくされている児童には、確かにクロムブックを活用しての授業配信は学習保障の有効な手立てです。上記のような課題については、いろんな自治体、学校の取り組みを参考にしながら前向きに進めていきたいと思えます。今は校内配信をしてみても授業の様子を確認し、授業の様子が伝わるかどうかを視聴したり、子どもの姿が映らないようにクロムブックの位置を変えたり（複数の教員が必要）するなどの試行を行っています。

ただ、クロムブックだけの授業で学力が伸びるかと問えば難しいと思えます。新しい教育活動を取り入れながらも、鉛筆とノートを用いて書く学び、教室という空間の中で友だちと一緒に学ぶことも継承して大事にしていきたいと思えます。

クロムブックを活用した授業を考えているうちに、教育界では転がるような速さでクロムブック活用の授業が進み出しました。先進的な取り組みがテレビで取り上げられ、どの学校でもすぐに行えるような報道、取り組まなければならない課題には目が向かないような報道にはため息が出ることもあり、転がる方向が少し違っているように感じることもあります。クロムブックはあくまでも学習の手助けをする学習用具の一つです。クロムブックで学習するのではなく、クロムブックを必要な時に活用することが大事なことです。本来の学級という小さな社会の中で学ぶ人間関係や規範意識等の社会性という子どもたちが小学校時代に身につける大事な力を見失ってはならないと思えます。